

大山駅駅前広場などのデザイン検討ワークショップ

第1回ワークショップを開催しました！

現在、大山駅では東武東上線の連続立体交差事業と合わせて大山駅駅前広場整備事業が進行中です。まち全体が変わりつつある大山で、大山の地域らしい大山駅駅前広場+鉄道附属街路第6号の空間デザイン案を地域のみなさまとの議論を重ね決めていくワークショップを計3回開催します。ワークショップでは応募いただいた大山駅周辺の町会の方やまちづくりに関心のある方など、合計23名が参加され、「大山駅駅前広場+鉄道附属街路第6号の空間についてやってみたい、見てみたいシーンなどを考えてみる！」をテーマにグループに分かれて「今昔ガリバーマップ」「テーブルトーク」を実施しました！



① 今昔ガリバーマップ：これまでを振り返る

今昔ガリバーマップとは？
→大きな地図を床一面に広げ、その上を歩きながらまちの情報を書き込んだ付箋を貼っていきます。
→今回は大山駅周辺の現代と過去の航空写真を見ながら、大山のまちの魅力や残していきたい価値などを考えました。

過去マップ (1936年(昭和11年頃))

板橋競馬場、農園、野球場・動物園、千川上水、映画館、旧川越街、国営施設、大山道。

過去の残したい価値

- 千川上水
- 動物園、野球場といった娯楽施設
- 旧川越街道のにぎわい
- 公的施設と民間商業の両方が充実
- 集まる場所としての映画館や競馬場などの施設
- サブカルチャーのまち
- 大山詣などの地名の歴史

現代マップ (2019年)

病院に近い、学校・公共施設が多い、物販店が多い、日本有数の1km商店街、駅周辺のにぎわい、飲食が多い。

現在の残したい価値

- 日本有数の1km商店街
- コンパクトに色々ある歩いて、なんでも揃っていること
- 病院などの公的な施設が多いこと
- 大山駅を中心としたにぎわい
- 治安の良さ→学校/病院/保育園が多く生活がしやすいこと
- 人の温かさ

② テーブルトーク：これからを考える

テーブルトークとは？
→4つの班に分かれて、今昔ガリバーマップで出た内容や図面・模型、参考事例写真を見ながら駅前広場で見たい・やってみたいシーンについて話し合い、理想的な使い方などを考えました。

大山駅駅前広場

- 防災/町会の情報/イベントの周知ができるようになって欲しい
- 区民祭りと連動したらどうか？
→大山らしい駅前広場になるのではないかな
- 電源とWi-Fiの両方が使えるようになって欲しい
- 医療センターへの歩行者の動線などが考えられる
→移動のための実用的空間として整備する
- 無料の飲料水が出る水道などのインフラ設備が欲しい
- ロータリーの使い方を考えてスペース活用できるのでは？
- 面積的な点で緑化は難しいのでは？
→プランターやシンボルツリーのポイントでの緑化はできそう…etc

鉄道附属街路第6号

- みんなが集まる場所(休む・食べる)が欲しい
- バリアフリーでフラットな通路に！
- 敷地狭いことのメリット/デメリットを考える
→開放的/風が通る/狭くて落ち着く/小規模で特徴的な活用
- イベントなどで人が集まる場所になって欲しい
→ステージなどを用意する
→日常使いでは椅子になるのでは？
- 幅4mで狭いため使い方が難しい…etc

広場全体+前面区道

- 大山らしい使い方→「集う」ことをテーマにしたらどうか？
- 六小から向かう踏切がなくなる
→子供のみならず親世代も恩恵を受けるのでは？
- 駅前広場/鉄付6号/二つの商店街を含めて一体化して考えたい
- せっかく住民から用地を提供してもらうなら、住民に還元される空間になって欲しい
→維持管理を住民自ら行う空間へ…etc